

プリントは <https://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/takimoto/R8Kai1.html> にも置いてあります.

**1**  $A$  を空でない  $\mathbb{R}$  の部分集合とする. 次の各概念の正確な定義を, 論理記号を用いて述べよ. (解答は教科書や各自のノートで確かめよ)

- (1)  $a \in \mathbb{R}$  が  $A$  の上界である.
- (2)  $a \in \mathbb{R}$  が  $A$  の下界である.
- (3)  $A$  が上に有界である.
- (4)  $A$  が下に有界である.
- (5)  $A$  が有界である.
- (6)  $m \in \mathbb{R}$  が  $A$  の最大値である.
- (7)  $m \in \mathbb{R}$  が  $A$  の最小値である.
- (8)  $m \in \mathbb{R}$  が  $A$  の上限である.
- (9)  $m \in \mathbb{R}$  が  $A$  の下限である.

**2** 次の性質がどういうものであるか説明せよ.

- (1) 実数の連続性      (2) アルキメデス性      (3) 有理数の稠密性

**3**  $A, B$  を空でない  $\mathbb{R}$  の部分集合とする. 次の各命題の真偽を判定し, その理由を述べよ. (裏面に各命題の真偽についてのみ解答を掲載しました. 理由が分からないという方は質問してください.)

- (1)  $A$  には必ず上限  $\sup A$  が存在する.
- (2)  $A$  の上限  $\sup A$  が存在するとき,  $A$  は必ず上に有界である.
- (3)  $A$  の上限  $\sup A$  が存在するとき,  $\sup A$  は必ず  $A$  の元である.
- (4)  $A$  の上限  $\sup A$  が存在するとき,  $\sup A$  は必ず  $A$  の上界である
- (5)  $\sup A$  も  $\max A$  も存在するが,  $\sup A \neq \max A$  を満たす集合  $A$  が存在する.
- (6)  $\inf A$  も  $\sup A$  も存在するとき,  $\inf A \leq \sup A$  が必ず成り立つ.
- (7)  $\inf A$  も  $\sup A$  も存在するとき,  $\inf A < \sup A$  が必ず成り立つ.
- (8)  $A$  の上界全体の集合と,  $A$  の下界全体の集合が一致することはない.
- (9) 任意の  $x \in A$  に対して  $x < 0$  であると仮定する. このとき  $\sup A < 0$  である.
- (10)  $A, B$  を上に有界な集合とする.  $A \subset B$  ならば,  $\sup A \leq \sup B$  である.
- (11)  $A, B$  を上に有界な集合とする.  $A \subset B$  かつ  $A \neq B$  ならば,  $\sup A < \sup B$  である.
- (12)  $A$  の任意の元が有理数であるとする. もし  $\sup A$  が存在するならば,  $\sup A$  も有理数である.
- (13)  $A$  の任意の元が正の有理数であるならば,  $\inf A$  が存在する.
- (14)  $A \subset \mathbb{N}$  であるならば,  $\min A$  が存在する.

3 (1) 偽 (2) 真 (3) 偽 (4) 真 (5) 偽 (6) 真 (7) 偽 (8) 偽 (9) 偽 (10) 真 (11) 偽  
(12) 偽 (13) 真 (14) 真